

品川 九条の会

2005.7.20 ニュース

連絡先

〒142-0052

品川区中延 5-6-14-2F

矢沢 宏之宛

TEL 050-7503-6383

E-mail

info@9jo-shinagawa.es3.jp

「九条の会・品川」賛同人

1000 人キャンペーン

「九条の会」のよびかけを広げる「九条の会・品川 賛同人 1000 人キャンペーン」を実施します。ぜひ、この機会に「九条こそ平和を守る」ということを多くの方々によびかけ、賛同人を増やしていきましょう。7/15 現在、よびかけ人は 44 名、賛同人は 315 名です。各賛同人に方が 3 名の賛同人を増やすと 1000 人を突破することができます。ぜひ、「九条の会・品川」の賛同人の登録を以下の項目でお願いします。

お名前・氏名公開：可 / 不可（ご選択下さい）・ご住所・連絡先：（E-mail または電話）
この運動への感想、メッセージ、活動の提案、ご自身が出来る活動などお寄せ下さい。

登録は、ホームページもしくはメール、郵送、TEL、FAX（03-3784-5609）でも受け付けております。多くの方の登録をお待ちしております。

有明コロシアム 一万人集会 7月30日（土）午後1時から

「有明講演会」参加券発行は締め切りました。

「九条の会・有明講演会」への多くの皆様の熱い思いを込めたご協力・ご支援に感謝いたします。誠に申し訳ございませんが、7月16日をもって参加申し込みが定員の10,000人に達しましたので、参加券の発行を締め切らせていただきました。

なお、当日は一定数のキャンセルが出るとおられますので、キャンセル待ち参加券を発行します。また、会場には入れませんが、東西のロビーで会場内の様子をモニターで放映いたします。もしよろしければご参集ください。

問合せ先：九条の会事務局・有明講演会係

電話：03-5213-8530

九条の会・品川のよびかけ人・賛同人の方々からの メッセージ・意見

戦争の記憶

向 武男さん（弁護士：大井在住）

昭和 20 年 3 月、千葉県習志野の幹部候補生の学校へ集められた。

夜、西の空が真っ赤になった。東京辺が空襲されている。B 2 9 の編隊が探照灯に照らされる。ゆうゆうとまるで水中を烏賊が泳いでいるように見えた。打ち上げられた高射砲の弾は届かない。日本の空軍機は飛ばない。日本には迎撃する力はなくなっていた。

日夜、房総の外海に面した断崖に窓穴のある洞窟を掘り、上陸してくる敵兵を狙撃する陣地作りをする。平地に深さ 1 メートルほどの穴を掘り、爆雷を抱えてその中にひそみ、攻めてくる戦車の下にもぐって自爆する。そんなのが軍事訓練の毎日であった。もちろん、米軍の小型機の攻撃にもさらされた。兵舎で昼食をとっていた。警報のいとまもなく、グラマンが低空で襲ってきた。当番であったので、外で警戒にあたっていた。あわてて、壕へ転がり込んだ。その数メートル先を、機銃弾がばらばらと薙いでいった。恐怖の気は起きなかった。

勝っても、負けても、戦争は空しい。生き残ってみて、逝った友を悲しむ。

わたしの戦後

金尾 丹さん（医師：南大井在住）

昭和 21 年 1 月生の私は、母の胎内にいた時はまだ戦争の最中であった。

軍国少女で育った母にとって戦後の新憲法はなかなか受入れ難かったと思う。

歴史が好きだった私は、必然的に戦争が歴史上、どうして起こり、どういう結末を人類に残すか？興味を持っていた。大学に入り、色々な思想の影響を受け、やはりマルクス、レーニン主義に傾いていった。しかしヨーロッパ史上の強いキリスト教の力も知り「宗教はアヘンだ」ですますのも何か変な気もしていた。

モタモタしている内、ベトナム戦争で北爆が始まり、学生運動激化の中、成田、新宿、安田講堂と続き、連合赤軍事件で左派は決定的なダメージを受けた。

フランスでは今でも平気でストライキをやっているのに、今の日本の右傾化にはガマン出来ない。

1945.5.23 西 中 延

付近の空襲被害を描いた小島義一さんの作品。

8/11 からの開かれる「平和のための戦争展」で展示されます。



憲法を町の中から身につけよう

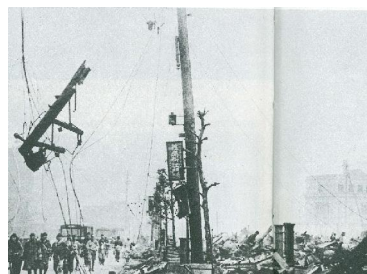
樋口 亮一さん（荏原在住）

戦後生まれの私には戦争体験はありませんが、私の生まれた家の庭には、防空壕が二つありました。工場は半分ぐらい地下に埋まり、屋根は黒く塗装がしてありました。ポンプで屋根から水が出るようになっていました。戦前に上空から工場が爆撃されないようになっていたのです。子どもの時「なぜだろう」という疑問からの親や祖父の答えから、あらため戦争の恐怖を感じました。

私は昔の東戸越5丁目、今の戸越公園駅の近くで、現在大型スーパーが建つ付近で生まれました。多少は焼け野原と呼ばれた空き地や畑も残ってありました。空襲で焼けたあとを、焼け野原と呼ぶことなど、知らずに遊び場となっていました。大勢の人たちが戦火で家を焼かれ、煙にまかれ、自分ではどうしようもない慟哭の場所だったのでしょうか。

戦争を知らない大人を育てた責任は問えませんが、品川区戦争史などを早急につくり「武力が国を守れなかったこと」「軍隊や国家が国民を守れないこと」「今や核の管理も崩れ戦争の時代は終わったこと」を知らせなければなりません。

ともかく品川区の戦争中の写真や戦争体験者の話などを聞いたり見たりできる機会が無いのが、戦争を知らない、戦争を想像すら出来ない大人たちを作ってしまったのではないのでしょうか。



1945.5.23 五反田付近の空襲被害

9条は日米安保にもきちんとした歯止めになっています。

教育者にはしかられますが、知識としての憲法は学校でも学びますが、大切さを身に着けるには町のなからだと思います。改憲論や護憲論どちらの議論も感情のみでなく、現実を理解すれば改憲論のどこに理があるのか見つけることは出来ないでしょう。頑張りましょう。

憲法九条をよりよく生かすために

佐藤 直己さん（北品川在住）

現行憲法は100%人民（市民）主権にはなっていないと思います。削除したい条項や修正したい条項もあります。しかし、現時点では憲法改憲派の目論見通りにさせるわけには行きません。

日本の人民（市民）一人一人が意識的に自治を考えられるようになるまではまだ時間がかかりそうです。それまでの間、憲法を生かすために憲法に書いてある人権が全て実施されるような社会造りに努力することが必要です。

そして、世界の潮流となりつつある憲法九条をさらによりよく生かすために、今できることをできるところから始めたいと思っています。

九条の会・品川のシンボルデザインです。これをもとにしたカンバッジも1個100円で販売しております。ぜひ、お買い求め下さい。



品川区内地の九条の会 連絡先

3月の九条の会・品川結成後、よびかけに応じて区内の職場・学園・地域・組合・サークルなどで続々と九条の会が立ち上がっています。ぜひ、お近くの九条の会へご参加ください。

- ・立正大学九条の会（連絡先：田代 090-8007-9884）
- ・品川区職員九条の会（連絡先：紀川 03-3773-6705）
- ・大井地域九条の会準備会（連絡先：桜井 090-2170-1413）
- ・九条の会荏原地域準備会（連絡先：矢沢 050-7503-6383）
- ・J M I U品川地域支部九条の会（連絡先：土田 03-3471-8936）
- ・品川平和委員会九条の会（連絡先：増田 03-3321-5244）

ホームページをぜひご覧下さい。 <http://9jo-shinagawa.es3.jp/>

九条の会・品川のホームページ、もうご覧になりましたか？

トップには最新の情報を、メニューにはよびかけ人一覧、賛同人一覧、ニュース一覧やギャラリーもあります。リンクは全国各地の九条の会を紹介しています。ぜひ、ご覧いただきこのHPを広めて下さい。

九条の会・品川へのご意見やご要望、またサイトに対するご意見もお願い致します。

賛同金を募集しております。

郵便振替口座は以下の通りです。最寄の郵便局窓口およびATMでもご入金できます。通信欄に運動へのメッセージをいただければ幸いです。

00190-5-685658

メール登録のお願い

E-mail：info@9jo-shinagawa.es3.jp

ニュースや会議連絡、お知らせなどは随時、メールにてご連絡を差し上げます。経費削減のためにも、是非ご登録をお願いします。

品川の平和運動紹介コーナー

第22回 しながわ 平和のための戦争展

日時：8月11日(木)～8月15日(日)10時～19時（最終日は17時まで）

場所：品川区民ギャラリー（イトーヨーカドー大井町店8階）